

県内の景気動向

概況（2021年11月）

景気は、下げ止まりの動きがみられる

観光関連では、入域観光客数は前年を下回る

消費関連では、百貨店売上高は前年を下回る

消費関連は新型コロナウイルスの影響で悪化しているものの、緊急事態宣言解除に伴う消費マインド向上の兆しがあり、2019年の動きと比較すると下げ止まりの動きがみられること、建設関連は民間工事に再開の動きがみられるが、資材価格の上昇などを受け弱含んでいること、観光関連は新型コロナウイルスの影響で悪化しているものの、社会経済活動が再開しており、2019年の動きと比較すると下げ止まりの動きがみられることから、県内景気は下げ止まりの動きがみられる。

消費関連

百貨店売上高は、6カ月連続で前年を下回ったもののお歳暮ギフトセンター早期開設やキャンペーン実施などによる客数回復で減少幅は縮小した。スーパー売上高は、外食機会の増加や、巣ごもり需要の高まりがみられた前年の反動などにより食料品が減少したことなどから既存店ベースでは2カ月ぶりに前年を下回った。全店ベースは3カ月ぶりに前年を下回った。新車販売台数は、6カ月連続で前年を下回ったものの、東南アジアの新型コロナウイルス禍は和らぎ、生産が回復し始めたため減少幅は縮小した。電気製品卸売販売額は、家電量販店向け販売でAV商品、エアコンなどが減少したことなどから6カ月連続で前年を下回った。

先行きは、新型コロナウイルスの影響により引き続き不透明感はあるものの、緊急事態宣言解除に伴う人流回復、消費マインド向上が見込まれ、徐々に持ち直しに向かうとみられる。

建設関連

公共工事請負金額は、県は減少したが、国、市町村、独立行政法人等・その他は増加したことから、2カ月ぶりに前年を上回った。建築着工床面積は、居住用、非居住用ともに増加したことから2カ月連続で前年を上回った。新設住宅着工戸数は、貸家は減少したが、持家、分譲は増加したことから2カ月ぶりに前年を上回った。県内主要建設会社の受注額は、公共工事、民間工事ともに減少したことから2カ月連続で前年を下回った。建設資材関連では、セメントは17カ月連続で前年を下回り、生コンは17カ月連続で前年を下回った。鋼材売上高は鉄スクラップなど原材料の需給ひっ迫により単価の上昇がみられることなどから前年を上回り、木材売上高は需給ひっ迫により木材価格が上昇したことなどから前年を上回った。

先行きは、民間工事に再開の動きがみられるものの、資材価格が上昇していることなどから弱含むとみられる。

観光関連

入域観光客数は、3カ月連続で前年を下回った。国内客が減少し、外国客は引き続き0人となった。県内主要ホテルは、稼働率、売上高は3カ月連続で前年を下回り、宿泊収入は3カ月連続で前年を下回った。主要観光施設入場者数は6カ月連続で前年を下回った。ゴルフ場は、入場者数、売上高ともに4カ月ぶりに前年を下回った。緊急事態宣言が全面解除され社会経済活動が徐々に再開しているが、前年同月はGoToトラベルが実施されていたことが影響した。

先行きは、世界各国では新型コロナウイルス感染が再拡大していること、日本入国時の水際対策措置継続により、外国客が動き出すのは時間を要しよう。国内においてはオミクロン株の広がり等新型コロナウイルスの影響により引き続き不透明感はあるものの、消費マインドの向上が見込まれるなかレジャー関連需要喚起策の実施により徐々に回復するとみられる。

雇用関連

新規求人数（10月）は、前年同月比9.7%増となり7カ月連続で前年を上回った。生活関連サービス業・娯楽業や運輸業・郵便業などで増加した。有効求人倍率（10月、季調値）は0.80倍で、前月と同水準となった。完全失業率（10月、季調値）は2.4%と、前月より0.8ポイント低下した。

その他

消費者物価指数（10月）は、光熱・水道、食料などの上昇により前年同月比0.3%増と7カ月ぶりに前年を上回った。

企業倒産は、1件で前年同月を1件下回った。負債総額は3億2,000万円で、前年同月比267.8%増となった。

りゅうぎん調査 (2021年11月)

増減率(%)

	前年同月比	前年同期比 (2021.9-2021.11)
1. 消費関連		
(1) 百貨店(金額)	▲ 0.5	▲ 1.5
(2) スーパー(既存店)(金額)	▲ 1.9	▲ 0.1
(3) スーパー(全店)(金額)	▲ 0.9	0.8
(4) 新車販売(台数)	▲ 15.6	▲ 28.4
(5) 電気製品卸売(金額)	▲ 5.7	▲ 14.1
2. 建設関連		
(1) 公共工事請負金額(金額)	21.6	31.9
(2) 建築着工床面積(m ²)	12.7	18.3
(3) 新設住宅着工戸数(戸)	2.3	1.8
(4) 建設受注額(金額)	P ▲ 43.0	P ▲ 18.1
(5) セメント(トン数)	▲ 9.4	▲ 13.3
(6) 生コン(m ³)	▲ 23.2	▲ 20.1
(7) 鋼材(金額)	P 12.1	P 7.6
(8) 木材(金額)	7.8	14.3
3. 観光関連		
(1) 入域観光客数(人数)	▲ 3.4	▲ 8.2
うち外国客数(人数)	0.0	0.0
(2) 県内主要ホテル稼働率	(前年同月差) ▲ 9.6 (実数) 37.2	(前年同期差) ▲ 10.2 (実数) 27.6
(3) " 売上高(金額)	▲ 27.1	▲ 33.3
(4) 観光施設入場者数(人数)	▲ 13.5	▲ 31.3
(5) ゴルフ場入場者数(人数)	▲ 0.2	6.0
(6) " 売上高(金額)	▲ 5.6	0.0
4. その他		
(1) 県内新規求人数(人数)	(10月) 9.7	(8-10月) 15.5
(2) 有効求人倍率(季調値)	(10月、実数) 0.80	(8-10月、実数) 0.80
(3) 消費者物価指数(総合)	(10月) 0.3	(8-10月) 0.1
(4) 企業倒産件数(件数)	(前年同月差) 1	(前年同期差) ▲ 8
(5) 広告収入(県内マスコミ)(金額)	(10月) 9.3	(8-10月) 5.7

(注1) 公共工事請負金額は西日本建設業保証株式会社沖縄支店調べ。建築着工床面積、新設住宅着工戸数は国土交通省調べ。県内新規求人数、有効求人倍率は沖縄労働局調べ。入域観光客数、消費者物価指数は沖縄県調べ。

企業倒産件数は東京商工リサーチ沖縄支店調べ。Pは速報値。

(注2) 百貨店は、2014年9月より調査先が一部変更となった。

(注3) 2012年5月より外国客の入域観光客数を掲載した。

(注4) 主要ホテルは、2021年11月より調査先を28ホテルから27ホテルとした。

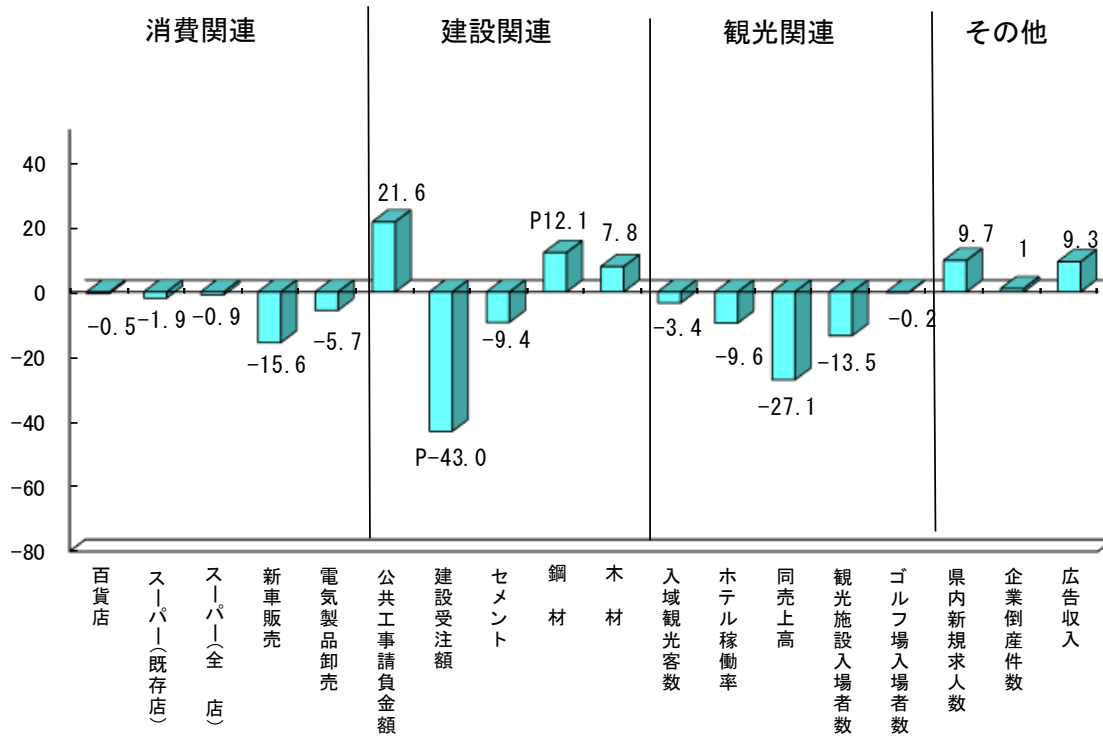
(注5) 2016年7月より企業倒産件数の前年同期差は、3カ月の累計件数の差とする。

(注6) 建設受注額は、2021年1月より調査先を18社から17社とした。

(注7) 有効求人倍率(季調値)と県内新規求人数(人数)は、就業地ベース。

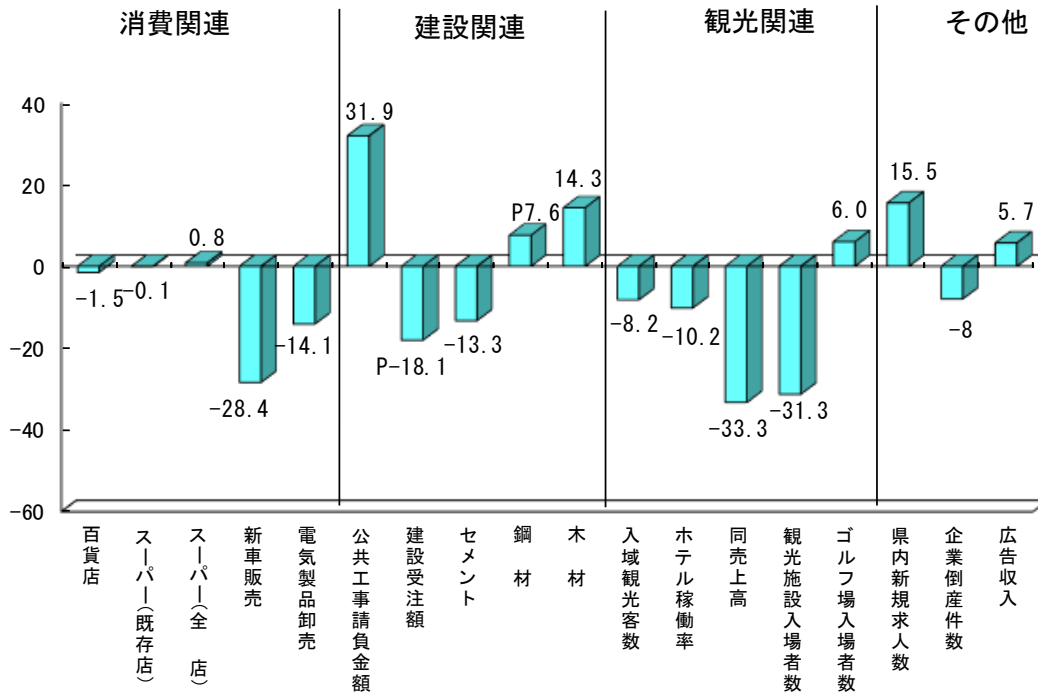
(注8) ゴルフ場は、2021年4月より調査先を8ゴルフ場から6ゴルフ場とした。

項目別グラフ(単月、2021年11月)



(注) 広告収入は21年10月分。数値は前年比 (%)。Pは速報値。
 ホテル稼働率 (%ポイント)、企業倒産件数 (件) は前年差。Pは速報値。

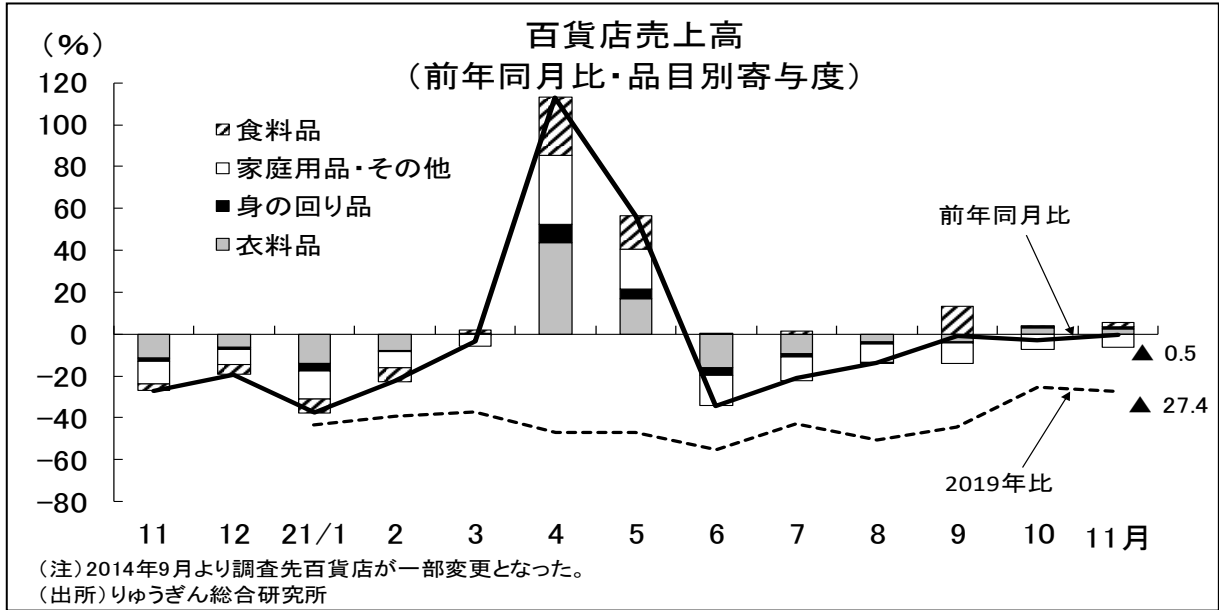
項目別グラフ(3カ月、2021年9月～2021年11月)



(注) 広告収入は21年8月～21年10月分。数値は前年比 (%)。
 ホテル稼働率 (%ポイント) は前年差。企業倒産件数 (件) は3カ月の累計件数の前年差。Pは速報値。

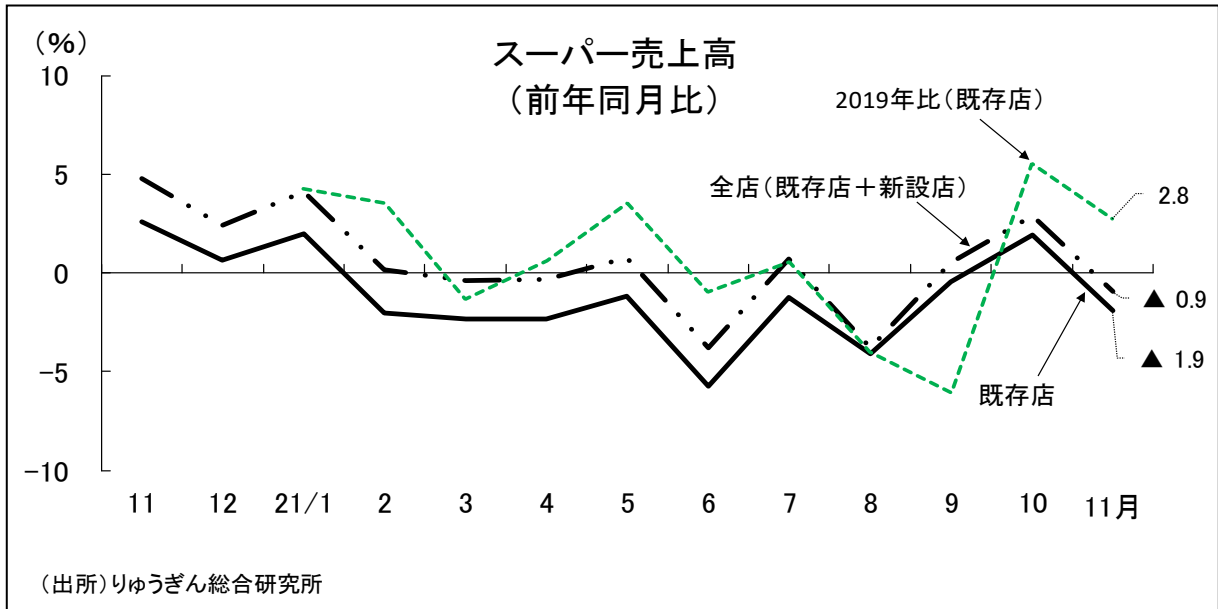
1. 消費関連

(1) 百貨店売上高：6カ月連続で減少



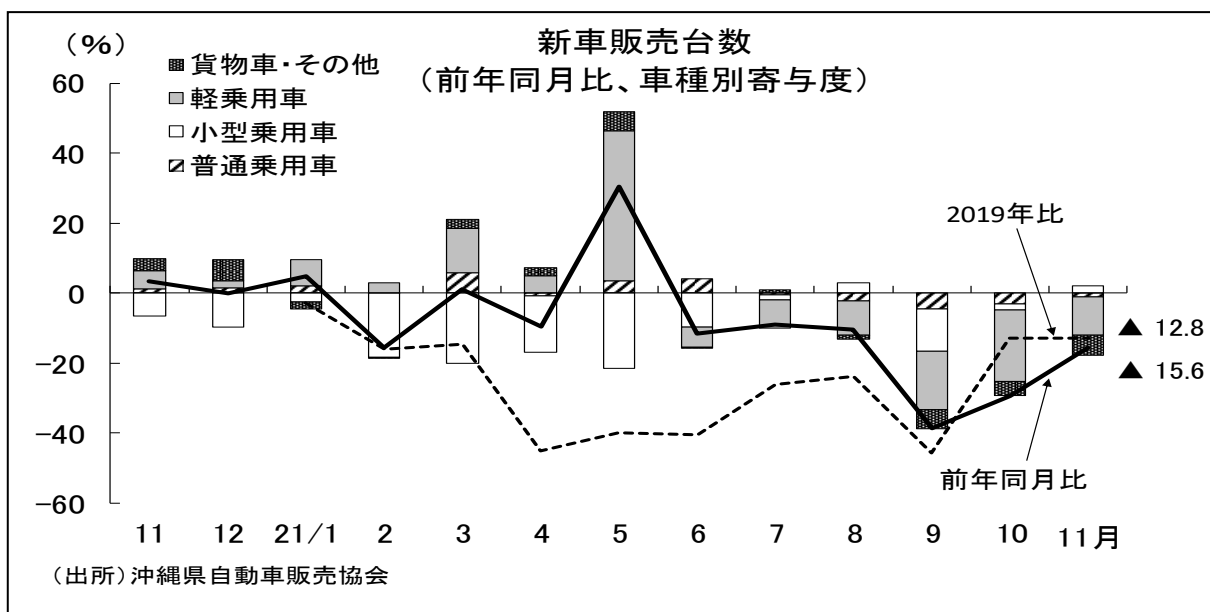
- 百貨店売上高は、前年同月比 0.5%減と6カ月連続で前年を下回った。お歳暮ギフトセンター早期開設やキャンペーン実施などによる客数回復で減少幅は縮小した。
- 品目別にみると、食料品が同 6.5%増、身の回り品が同 17.7%増、衣料品が同 8.0%増、家庭用品・その他が同 19.0%減となった。
- 新型コロナ以前の2019年と比較した伸び率は、27.4%の減少となった。

(2) スーパー売上高：全店ベースは3カ月ぶりに減少



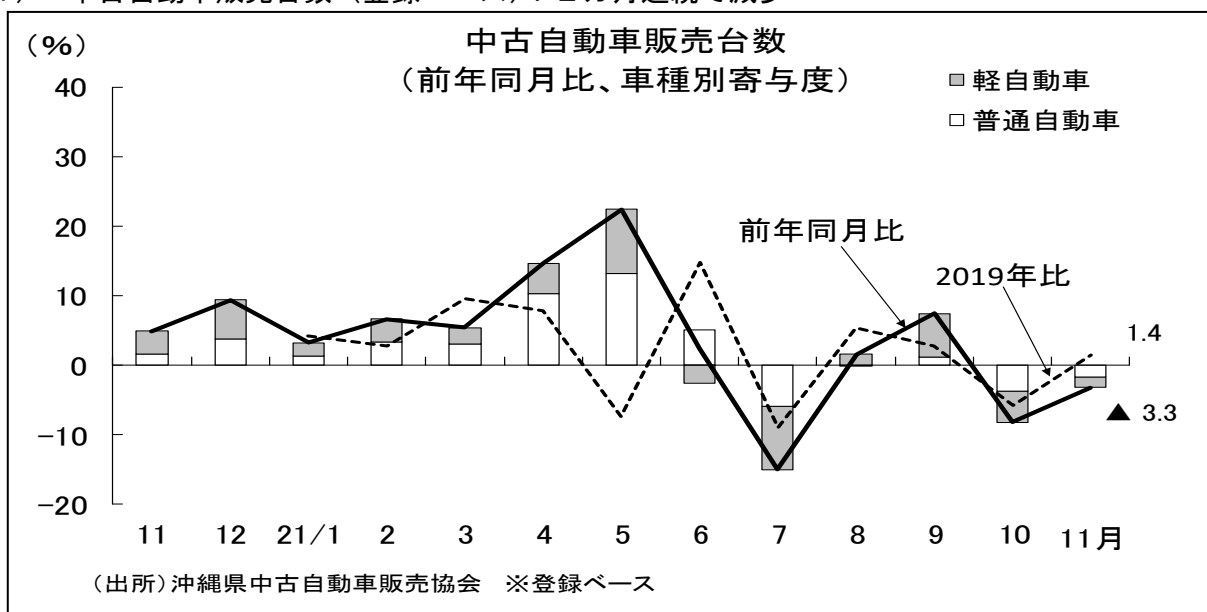
- スーパー売上高は、既存店ベースでは前年同月比 1.9%減と2カ月ぶりに前年を下回った。
- 衣料品は、人的移動制限緩和による外出機会増加などにより同 5.6%増となった。食料品は、外食機会の増加や、巣ごもり需要の高まりがみられた前年の反動などにより同 2.8%減、住居関連は同 0.4%減となった。
- 全店ベースでは、同 0.9%減と3カ月ぶりに前年を下回った。
- 新型コロナ以前の2019年と比較すると、既存店ベースでは2.8%の増加となった。

(3) 新車販売台数：6カ月連続で減少



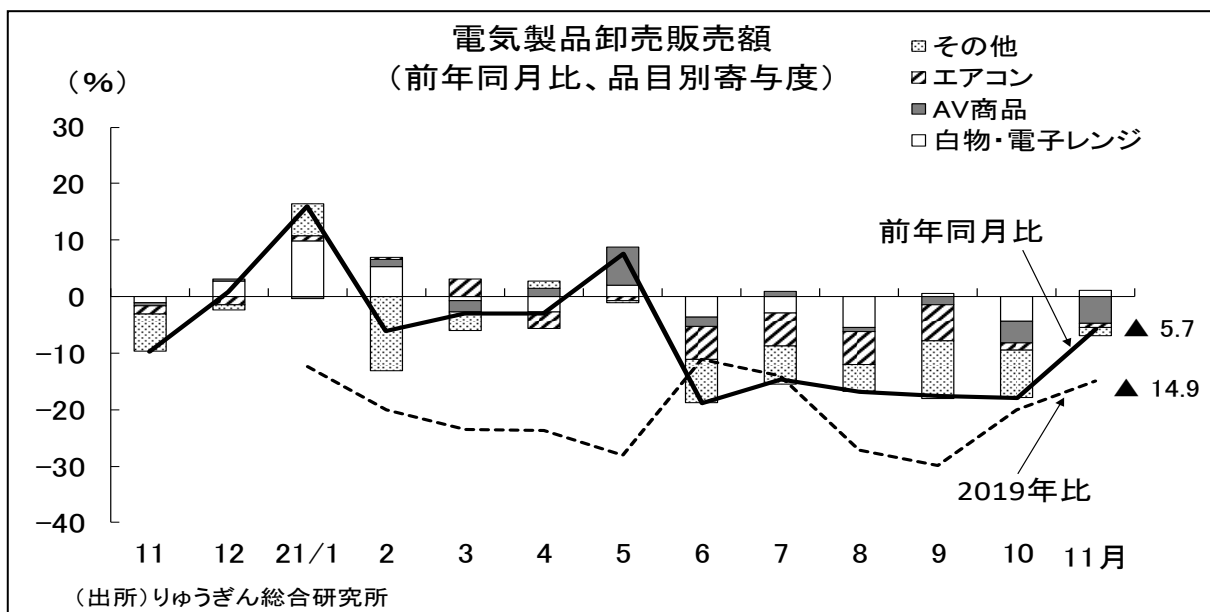
- 新車販売台数は3,076台で前年同月比15.6%減と6カ月連続で前年を下回った。部品不足の要因となった東南アジアの新型コロナウイルス禍は和らぎ、生産が回復し始めたため減少幅は縮小した。
- 普通自動車（登録車）は1,399台（同1.1%減）で、うち普通乗用車は542台（同6.7%減）、小型乗用車は672台（同12.8%増）であった。軽自動車（届出車）は1,677台（同24.8%減）で、うち軽乗用車は1,368台（同22.7%減）であった。
- 新型コロナ以前の2019年と比較した伸び率は、12.8%の減少となった。

(4) 中古自動車販売台数（登録ベース）：2カ月連続で減少



- 中古自動車販売台数（普通自動車及び軽自動車の合計、登録ベース）は1万7,790台で前年同月比3.3%減と2カ月連続で前年を下回った。
- 内訳では、普通自動車は7,108台（同4.3%減）、軽自動車は1万682台（同2.6%減）となった。
- 新型コロナ以前の2019年と比較した伸び率は、1.4%の増加となった。

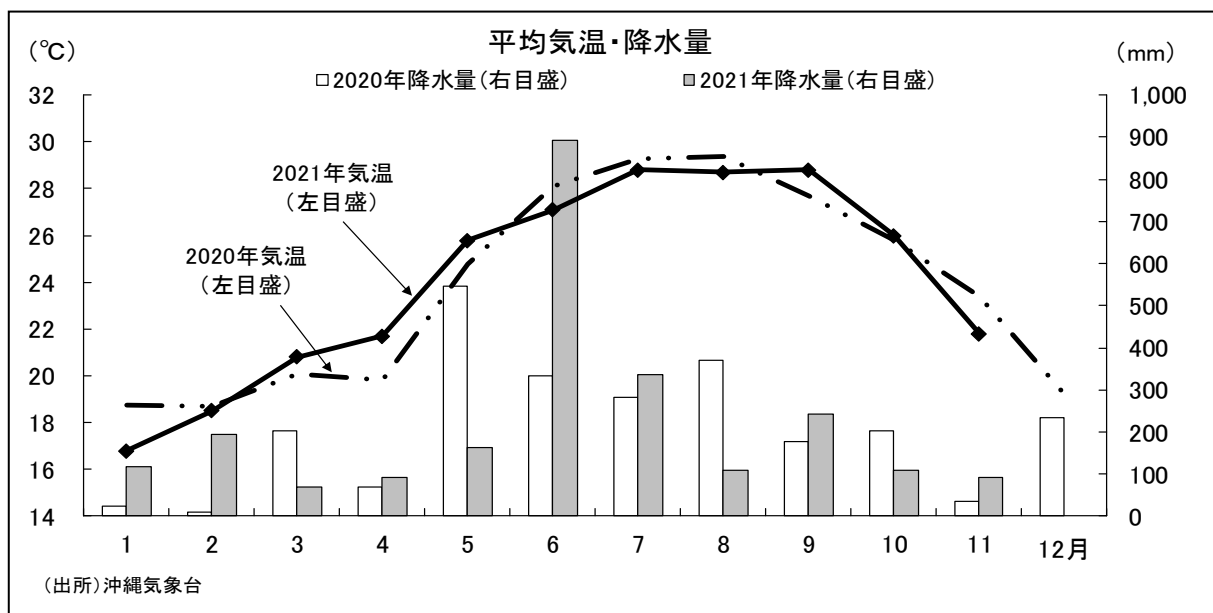
(5) 電気製品卸売販売額：6月連続で減少



- ・ 電気製品卸売販売額は、家電量販店向け販売でAV商品、エアコンなどが減少したことなどから、前年同月比5.7%減と6カ月連続で前年を下回った。
- ・ 品目別にみると、白物では洗濯機が同4.2%増、冷蔵庫が同3.4%増、AV商品は同27.6%減、エアコンは同10.8%減、その他は同3.1%減となった。
- ・ 新型コロナ以前の2019年と比較した伸び率は、14.9%の減少となった。

(参考)

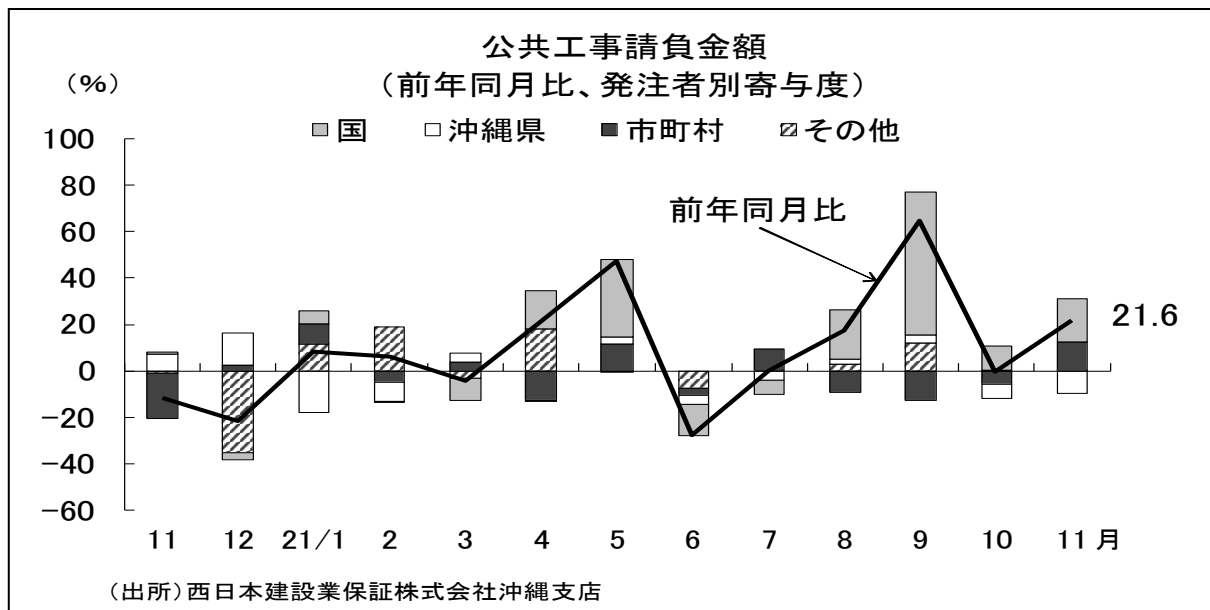
◇ 気象:平均気温・降水量(那覇)



- ・ 平均気温は21.8℃となり、前年同月(23.4℃)より低く、降水量は92.5mmで前年同月(34.0mm)より多かった。
- ・ 高気圧に覆われて晴れた日もあったが、前線や大陸の高気圧の張り出しに伴う寒気などの影響で曇りや雨の日が多く、大雨や荒れた天気となった所があった。平均気温は平年より低く、降水量、日照時間は平年並みとなった。

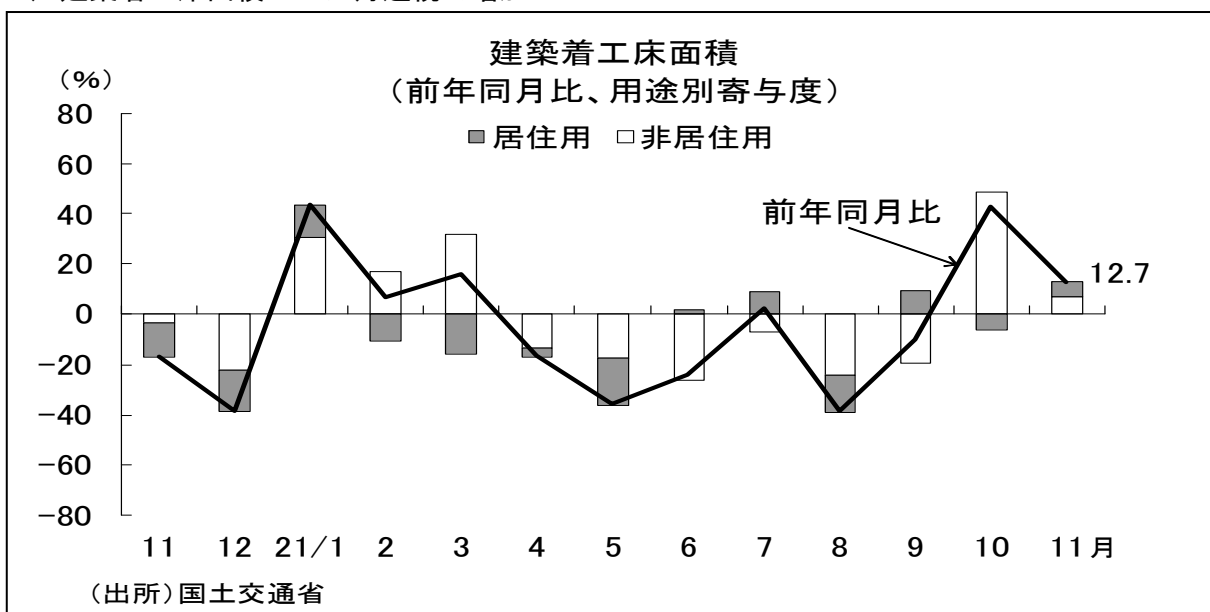
2. 建設関連

(1) 公共工事請負金額：2カ月ぶりに増加



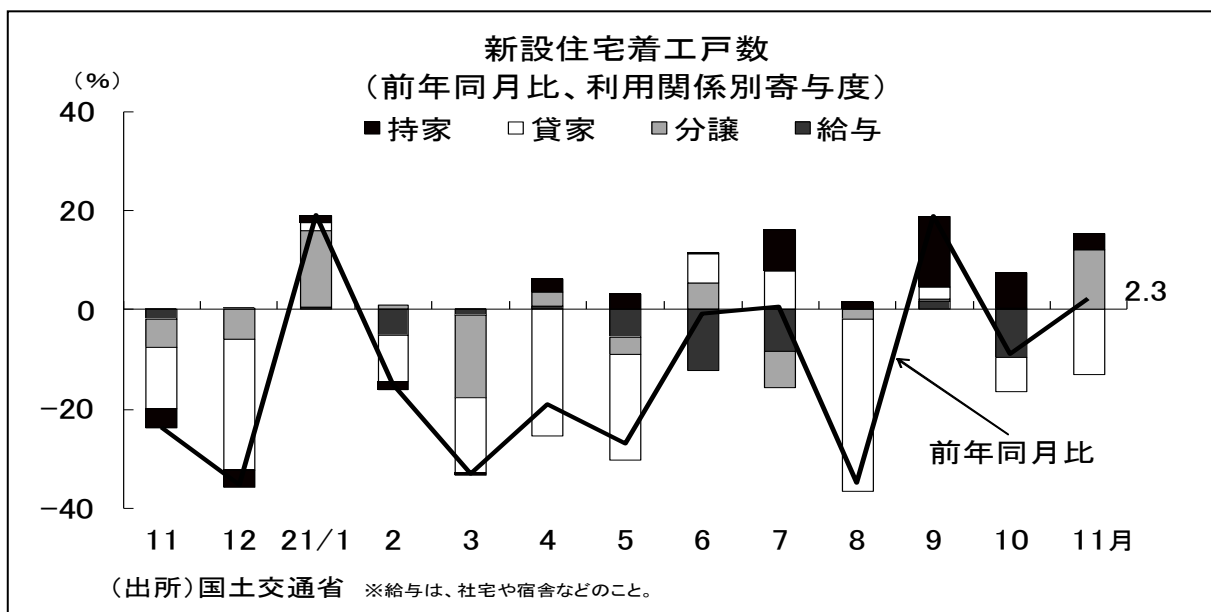
- 公共工事請負金額は、219億8,112万円、県は減少したが、国、市町村、独立行政法人等・その他は増加したことから前年同月比21.6%増となり、2カ月ぶりに前年を上回った。
- 発注者別では、国(同55.2%増)、市町村(同38.9%増)、独立行政法人等・その他(同2.7%増)は増加し、県(同32.6%減)は減少した。

(2) 建築着工床面積：2カ月連続で増加



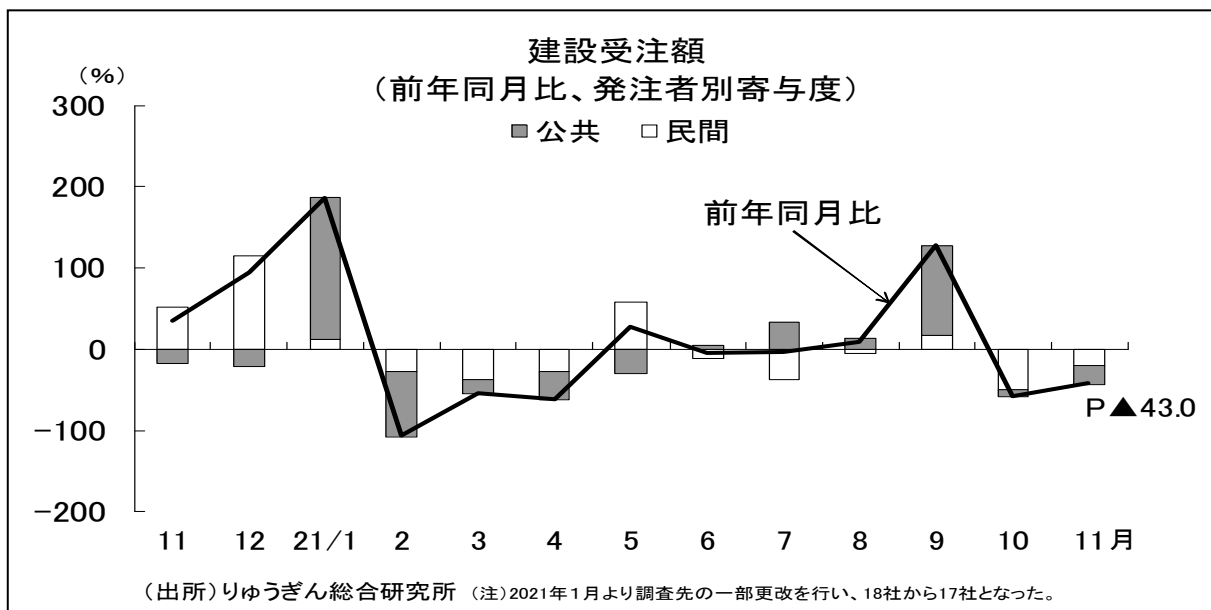
- 建築着工床面積は12万7,075㎡となり、居住用、非居住用ともに増加したことから前年同月比12.7%増と2カ月連続で前年を上回った。用途別では、居住用は同9.5%増となり、非居住用は同18.0%増となった。
- 建築着工床面積を用途別(大分類)にみると、居住用では、居住専用は増加し、居住産業併用は減少した。非居住用では、卸売・小売業用や製造業用などが増加し、医療、福祉用などが減少した。

(3) 新設住宅着工戸数：2カ月ぶりに増加



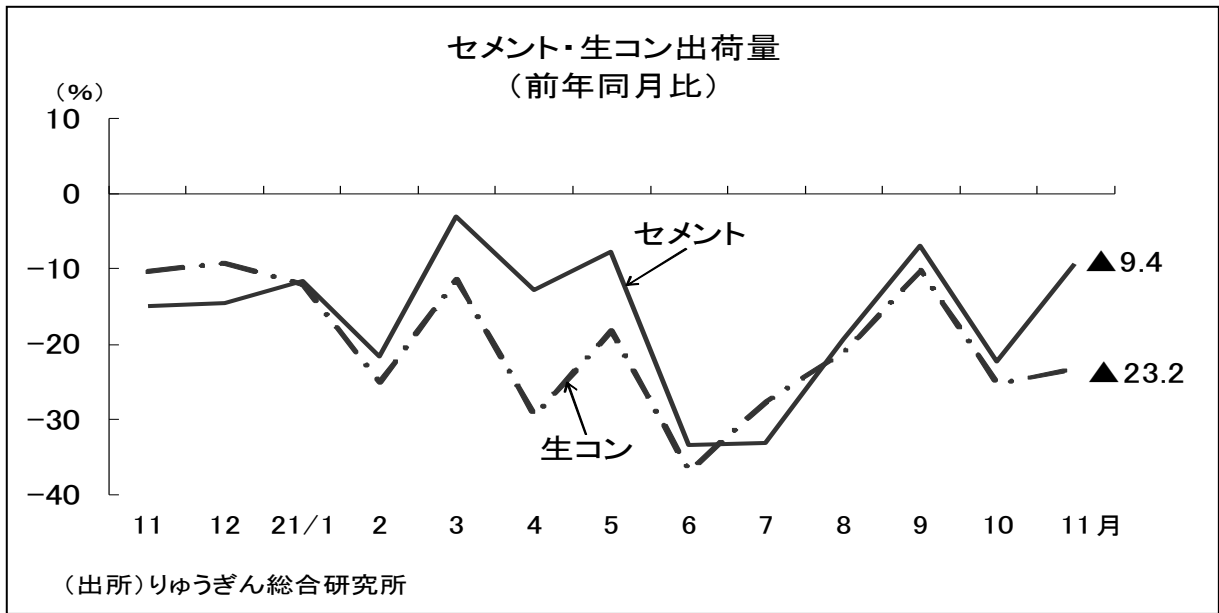
- ・ 新設住宅着工戸数は 882 戸となり、貸家は減少したが、持家、分譲は増加したことから前年同月比 2.3%増と 2 カ月ぶりに前年を上回った。
- ・ 利用関係別では、持家 (254 戸) が同 12.4%増、分譲 (269 戸) が同 63.0%増と増加し、貸家 (358 戸) が同 23.8%減と減少した。給与 (1 戸) は同数となった。

(4) 建設受注額：2 カ月連続で減少



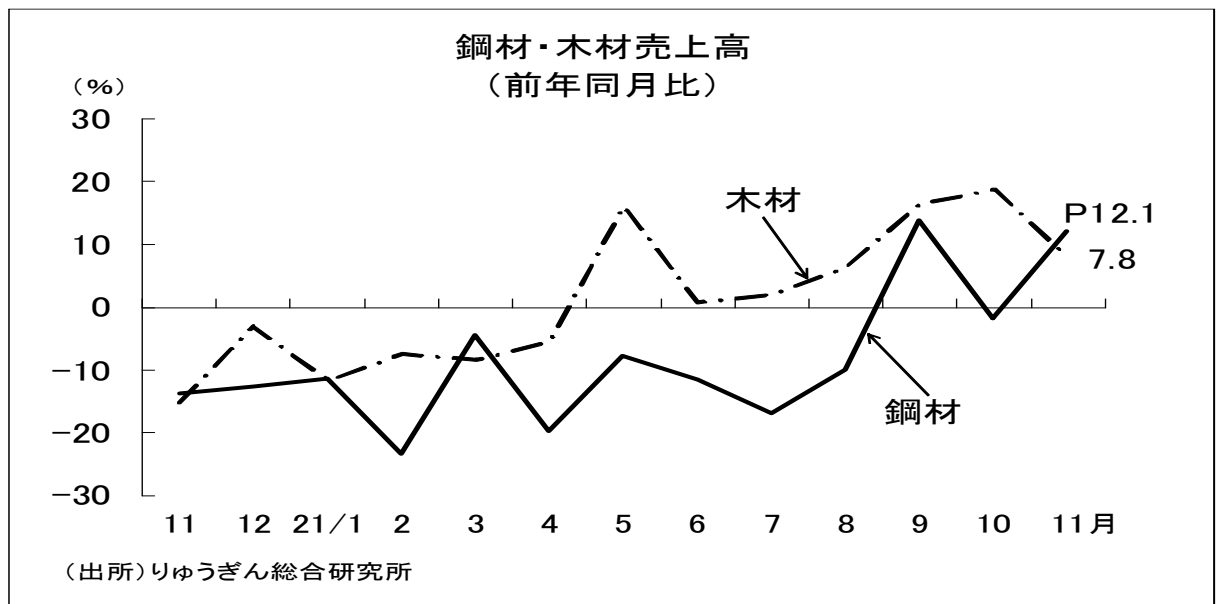
- ・ 建設受注額 (調査先建設会社：17 社、速報値) は、公共工事、民間工事ともに減少したことから、前年同月比 43.0%減と 2 カ月連続で前年を下回った。
- ・ 発注者別では、公共工事 (同 58.9%減) は 2 カ月連続で減少し、民間工事 (同 32.6%減) は 2 カ月連続で減少した。

(5) セメント・生コン：セメントは17カ月連続で減少、生コンは17カ月連続で減少



- ・ セメント出荷量は6万7,999トンとなり、前年同月比9.4%減と17カ月連続で前年を下回った。
- ・ 生コン出荷量は10万6,090 m³で同23.2%減となり、17カ月連続で前年を下回った。
- ・ 生コン出荷量を出荷先別にみると、公共工事では、公共施設向けなどが増加し、防衛省向けや海事工事向けなどが減少した。民間工事では、社屋関連向けなどが増加し、宿泊施設向けや分譲マンション向けなどが減少した。

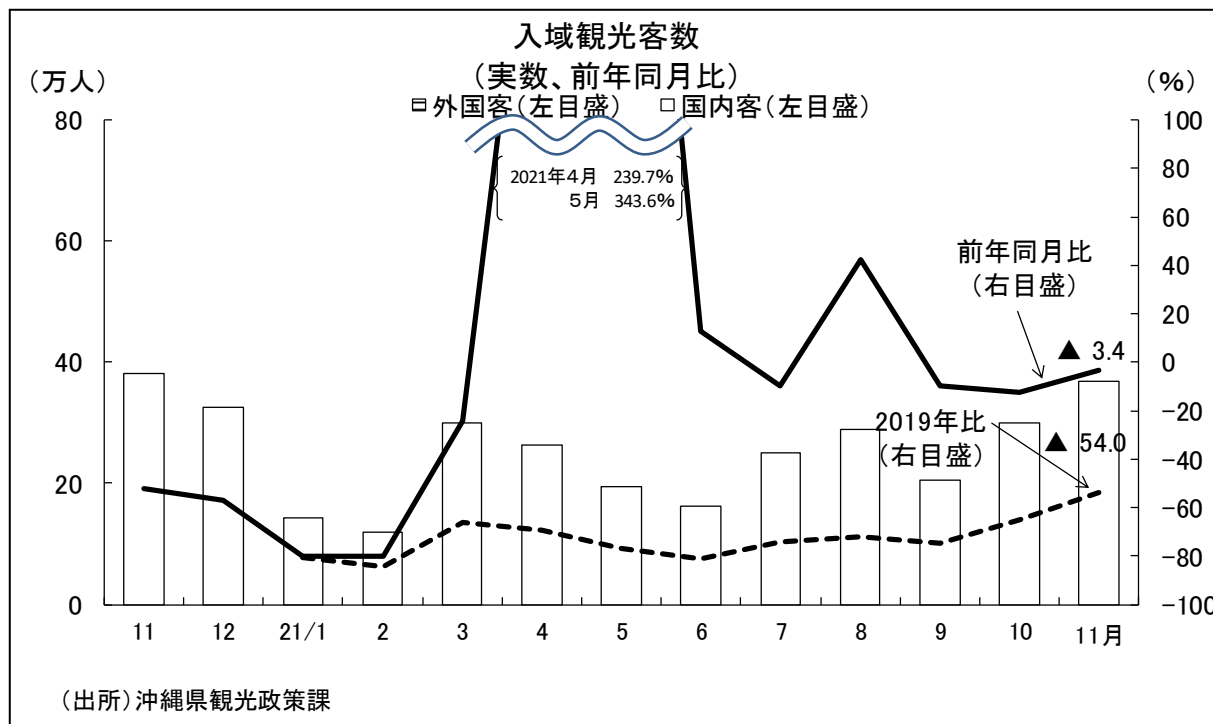
(6) 鋼材・木材：鋼材は2カ月ぶりに増加、木材は7カ月連続で増加



- ・ 鋼材売上高（速報値）は、鉄スクラップなど原材料の需給ひっ迫により単価の上昇がみられることなどから前年同月比12.1%増と2カ月ぶりに前年を上回った。
- ・ 木材売上高は、需給ひっ迫により木材価格が上昇したことなどから同7.8%増と7カ月連続で前年を上回った。

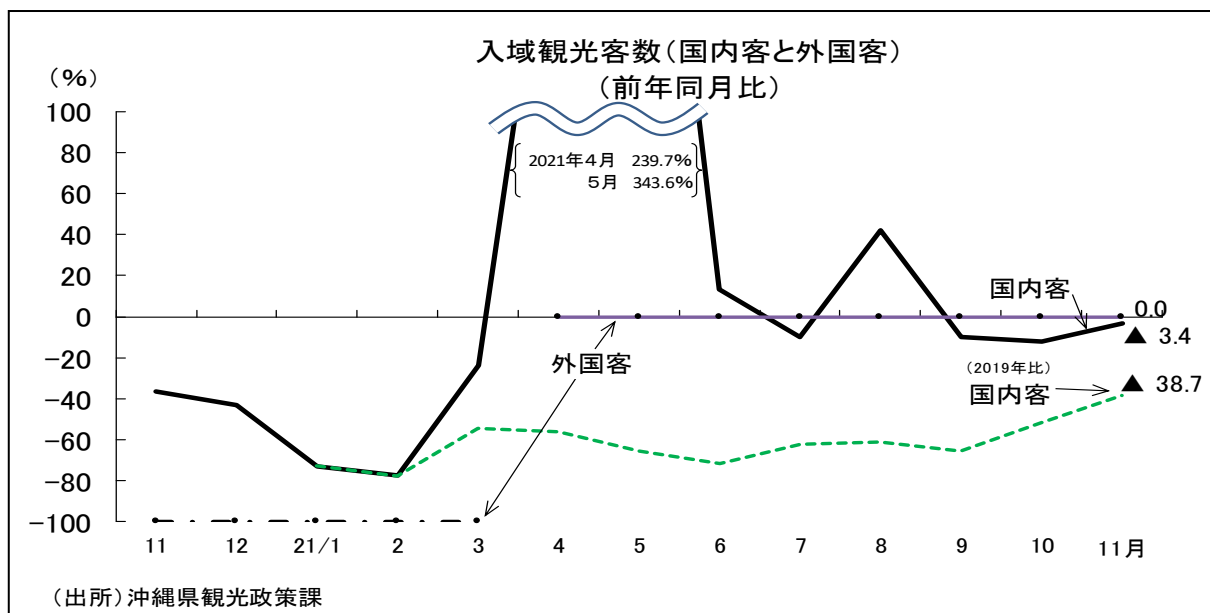
3. 観光関連

(1) 入域観光客数 : 3カ月連続で減少



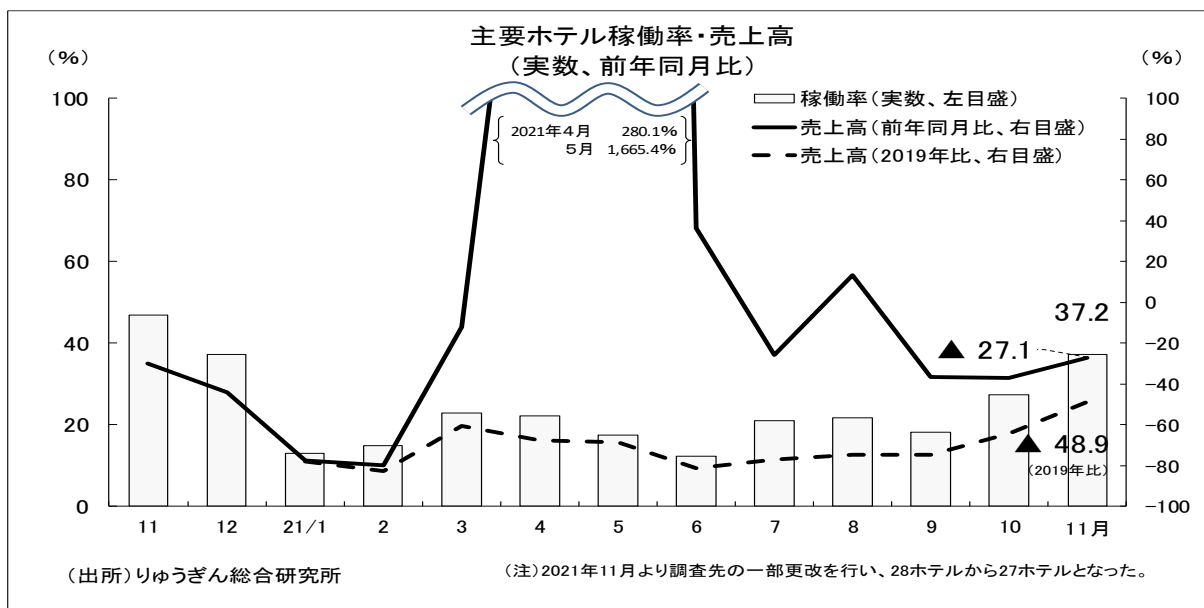
- ・ 入域観光客数は、36万8,000人（前年同月比3.4%減）となり、3カ月連続で前年を下回った。
- ・ 路線別では、空路は36万6,700人（同3.6%減）となり3カ月連続で前年を下回った。海路は1,300人（同62.5%増）となり2カ月ぶりに前年を上回った。
- ・ 経済社会活動が徐々に再開し入域観光客数は回復傾向にあるものの、前年11月はGoToトラベル事業が実施されていたことが影響した。
- ・ 新型コロナ以前の2019年と比較した伸び率は54.0%の減少となった。

(2) 入域観光客数（国内客、外国客）：国内客は減少、外国客は20カ月連続で0人



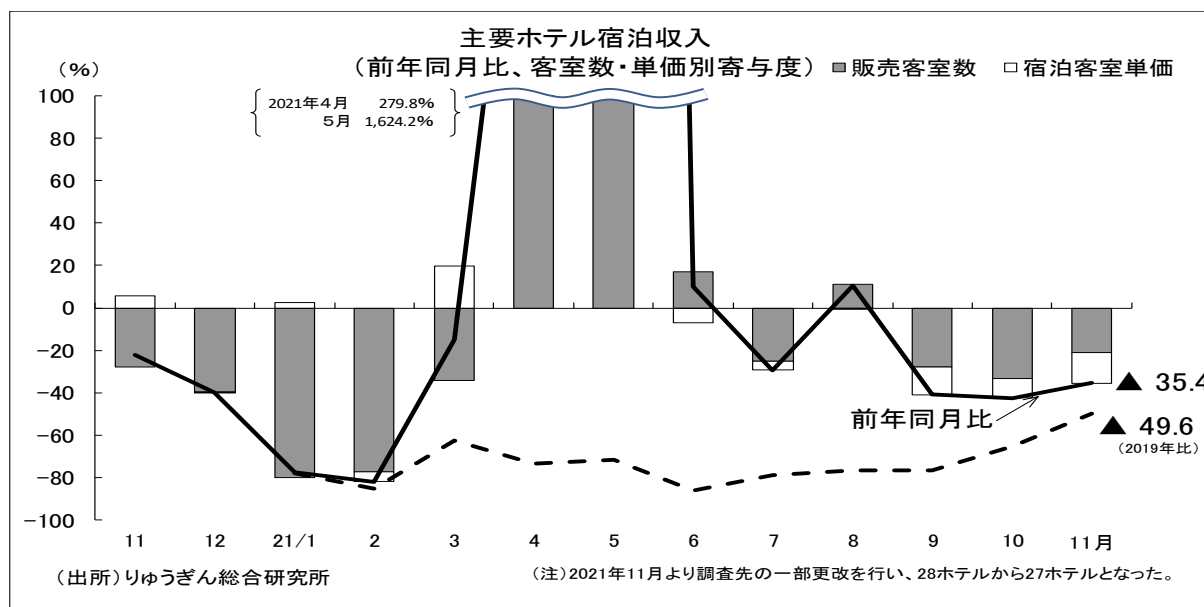
- ・ 国内客は、36万8,000人（前年同月比3.4%減）となり、3カ月連続で前年を下回った。
- ・ 外国客は、2020年4月以降20カ月連続で0人となった。
- ・ 新型コロナ以前の2019年と比較した伸び率は、国内客は38.7%の減少、外国客は全減となった。

(3) 主要ホテル稼働率・売上高：稼働率、売上高ともに3カ月連続で減少



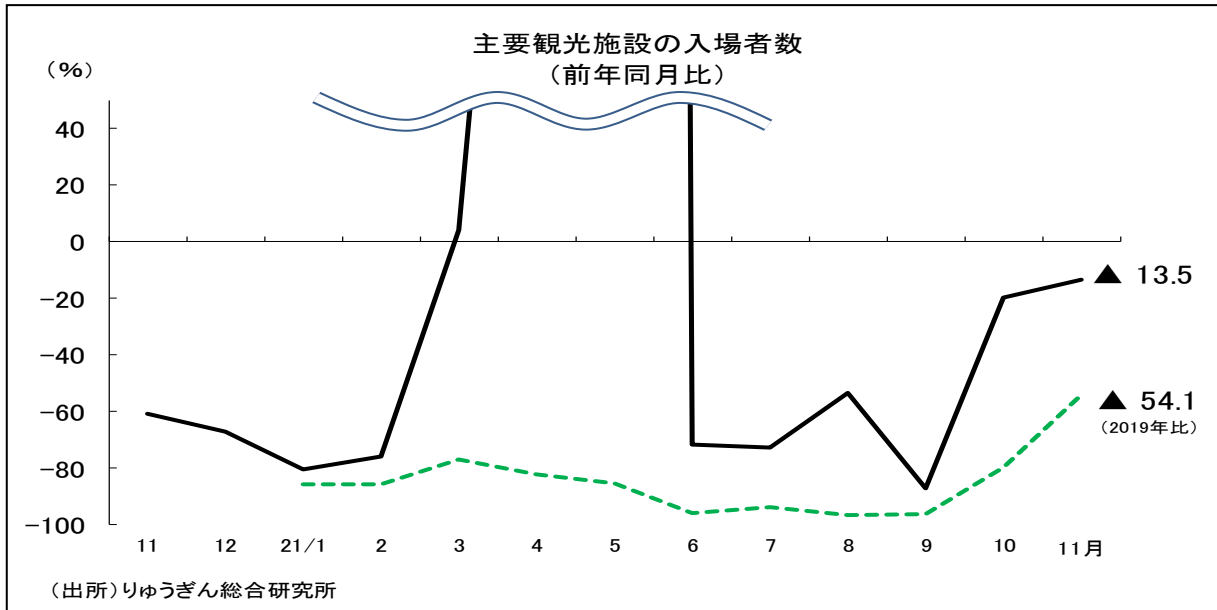
- 主要ホテルは、客室稼働率は37.2%と前年同月差9.6%ポイント低下、売上高は前年同月比27.1%減となり、稼働率、売上高ともに3カ月連続で前年を下回った。那覇市内ホテルの客室稼働率は41.7%と同2.0%ポイント低下し3カ月連続で前年を下回り、売上高は同4.9%減と5カ月連続で減少した。リゾート型ホテルの客室稼働率は35.6%と同12.4%ポイント低下、売上高は同30.4%減と、稼働率、売上高ともに3カ月連続で前年を下回った。
- 新型コロナ以前の2019年と比較した売上高は、全体は48.9%の減少、那覇市内ホテルは64.5%減少、リゾート型ホテルは44.1%減少となった。

(4) 主要ホテル宿泊収入：3カ月連続で減少



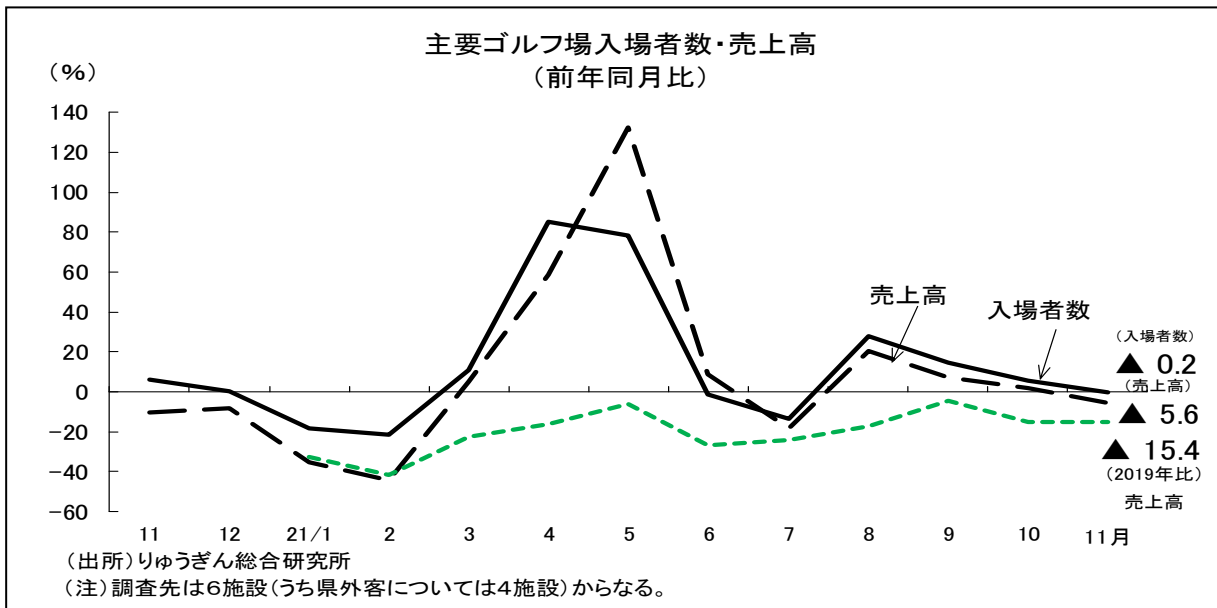
- 主要ホテル売上高のうち宿泊収入は、販売客室数（数量要因）、宿泊客室単価（価格要因）ともに低下し、前年同月比35.4%減と3カ月連続で前年を下回った。那覇市内ホテルの販売客室数、宿泊客室単価ともに低下し、同29.6%減と5カ月連続で前年を下回った。リゾート型ホテルは販売客室数、宿泊客室単価ともに低下し、同36.6%減と3カ月連続で前年を下回った。
- 新型コロナ以前の2019年と比較した宿泊収入は、全体は49.6%の減少、那覇市内ホテルは72.5%減少、リゾート型ホテルは41.0%減少となった。

(5) 主要観光施設の入場者数：6カ月連続で減少



- ・ 主要観光施設の入場者数前年同月比 13.5%減と6カ月連続で前年を下回った。
- ・ 修学旅行生を中心に観光客の入場が増加したものの、前年は10月からGoToトラベルに東京都発着便が加わり観光客が増加した影響を受けた。
- ・ 新型コロナ以前の2019年と比較した入場者数は、54.1%減少となった。

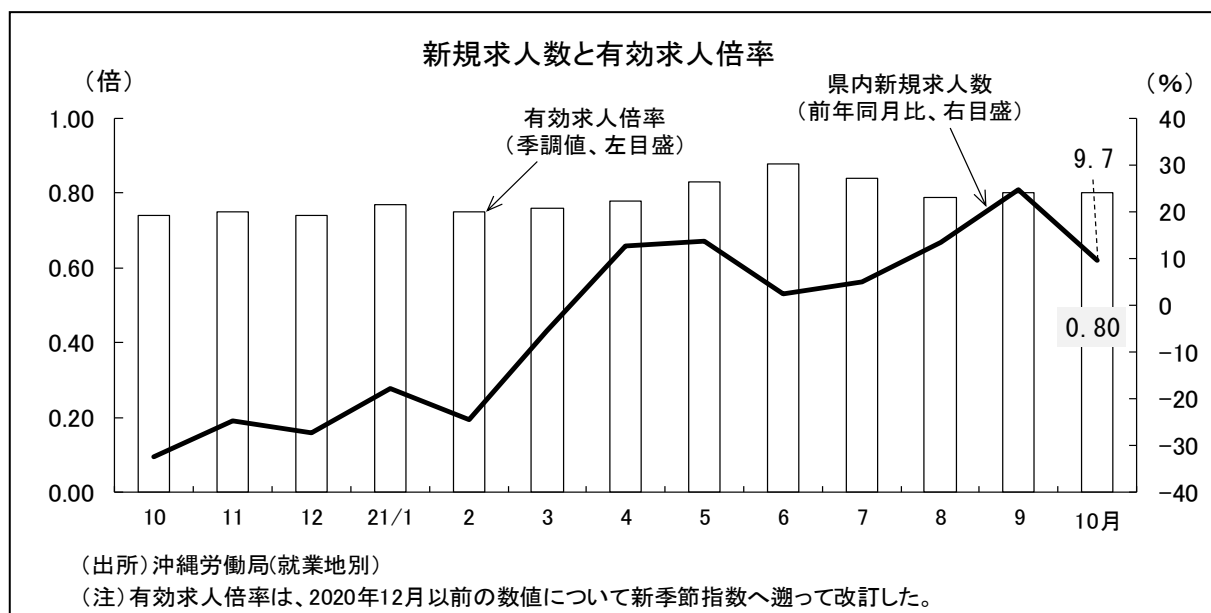
(6) 主要ゴルフ場入場者数・売上高：入場者数、売上高ともに4カ月ぶりに減少



- ・ 主要ゴルフ場の入場者数は、前年同月比 0.2%減と4カ月ぶりに前年を下回った。県内客は4カ月ぶりに前年を下回り、県外客は2カ月ぶりに前年を上回った。売上高は同 5.6%減と4カ月ぶりに前年を下回った。
- ・ 荒天によるキャンセルの影響があったものの、コロナウイルス感染状況の落ち着きから大型コンペの再開や、県外客の需要の高まりが見られた。
- ・ 新型コロナ以前の2019年と比較すると、入場者数は5.6%増加(県内客は増加、県外客は減少)、売上高は15.4%の減少となった。

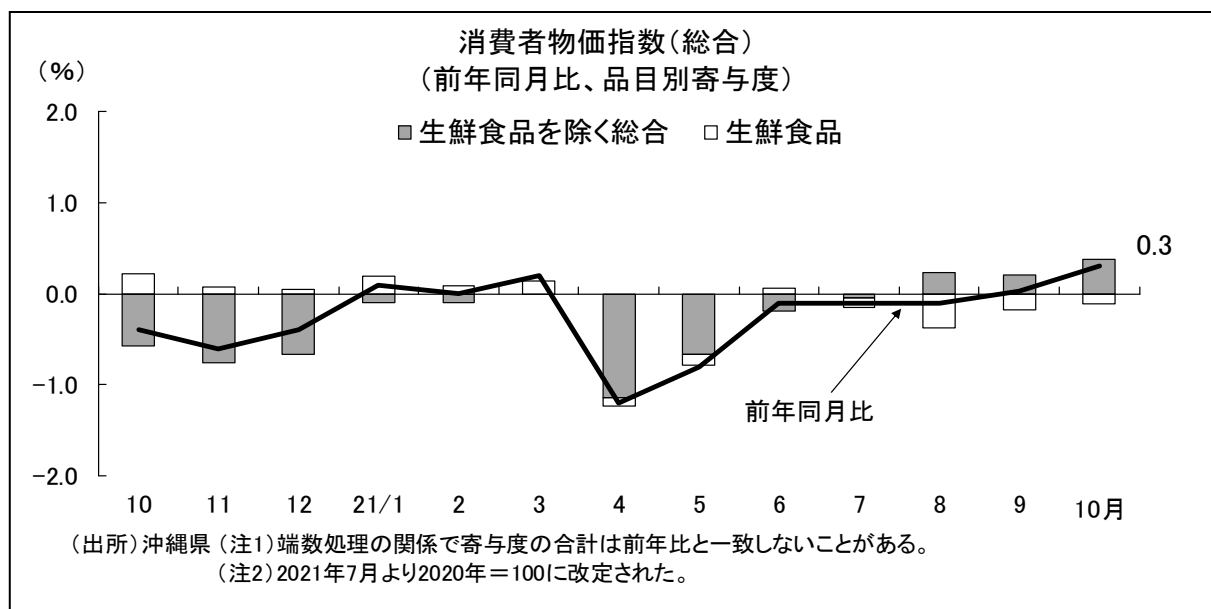
4. その他

(1) 雇用関連（再掲）：新規求人数は増加、有効求人倍率（季調値）は同水準



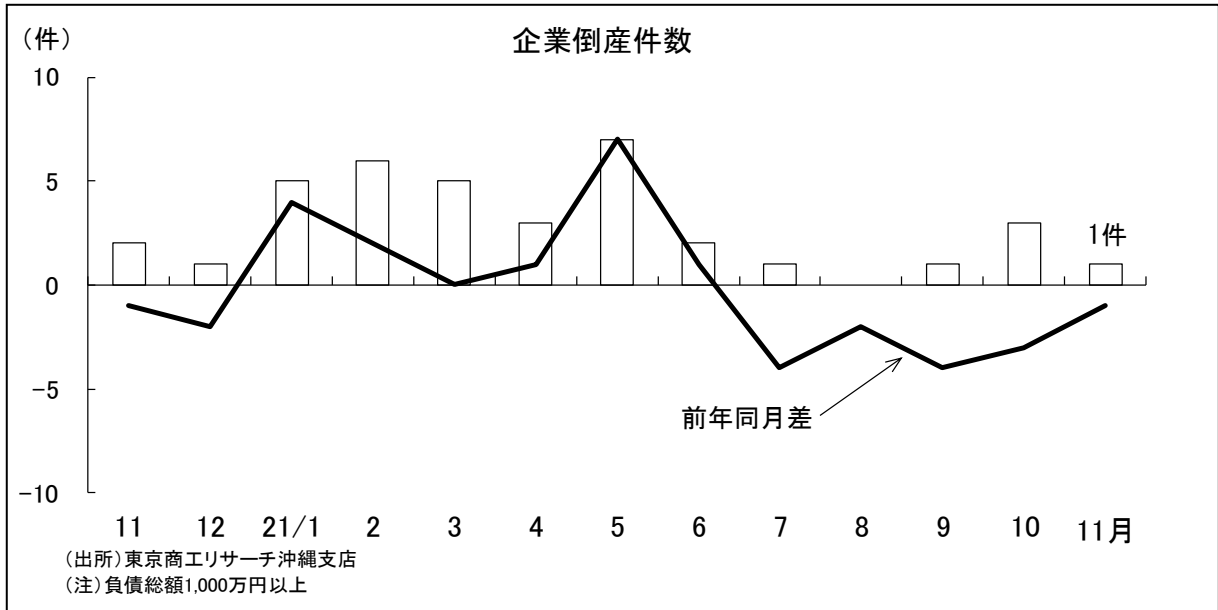
- 新規求人数（10月）は、前年同月比 9.7%増となり 7 カ月連続で前年を上回った。産業別にみると、生活関連サービス業・娯楽業や運輸業・郵便業などで増加した。有効求人倍率（10月、季調値）は 0.80 倍で、前月と同水準となった。
- 労働力人口（10月）は、74 万 8,000 人で同 0.4%減となり、就業者数（10月）は、72 万 7,000 人で同 1.0%増となった。完全失業者数（10月）は 2 万人で同 33.3%減となり、完全失業率（10月、季調値）は 2.4%と、前月より 0.8 ポイント低下した。

(2) 消費者物価指数（再掲）：7 カ月ぶりに上昇



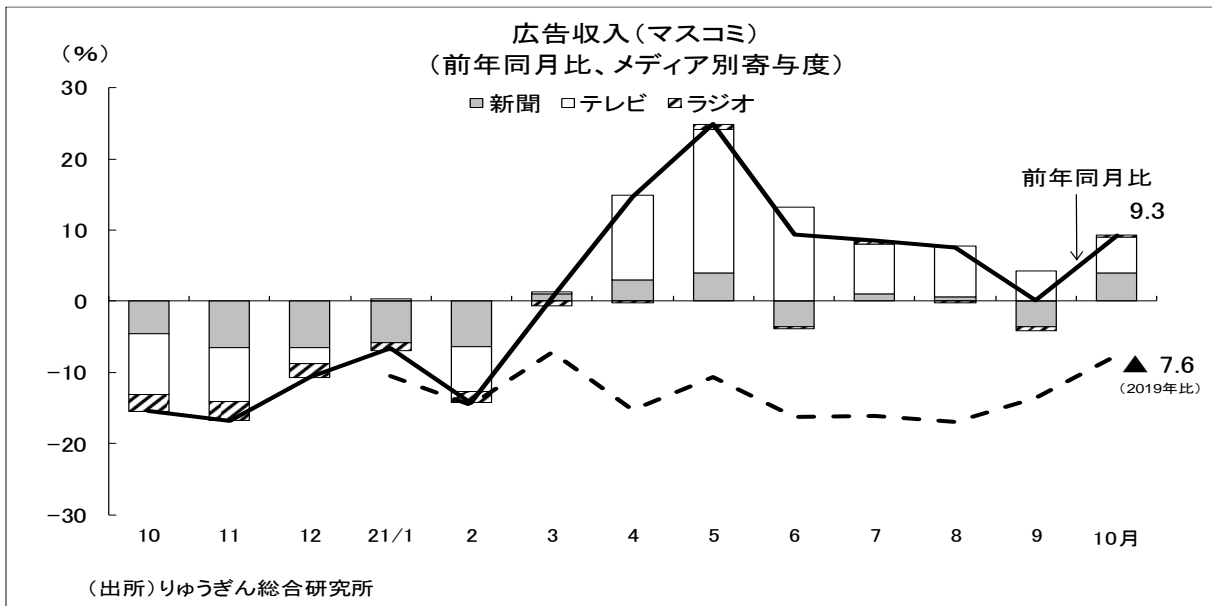
- 消費者物価指数（10月）は、前年同月比 0.3%の上昇となり、7 カ月ぶりに前年を上回った。生鮮食品を除く総合は同 0.4%の上昇となった。生鮮食品及びエネルギーを除く総合は同 1.0%の下落となった。
- 品目別の動きをみると、光熱・水道、食料などは上昇し、交通・通信などは下落した。

(3) 企業倒産：件数は減少、負債総額は増加



- ・ 倒産件数は、1件で前年同月を1件下回った。業種別では、サービス業他1件（同数）となった。
- ・ 負債総額は3億2,000万円で、前年同月比267.8%増となった。

(4) 広告収入（マスコミ）：8カ月連続で増加



- ・ 広告収入（マスコミ：10月）は、前年同月比9.3%増と8カ月連続で前年を上回った。
- ・ 10月は緊急事態宣言が解除されイベントが戻りつつあることや、衆議院議員選挙に関連する広告の影響が大きかった。
- ・ 新型コロナ以前の2019年と比較すると、7.6%の減少となった。

沖縄県内の主要経済指標……………17

〃 金融統計……………19

沖縄県内の主要経済指標(その1)

暦年	百貨店 売上高	スーパー 売上高 (既存店)	スーパー 売上高 (全店)	電気製品 卸売額	新車販売 台数	中古自動 車販売台 数	公共工事請負額		建築着工床面積	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	百万円	前年比	千平米	前年比
2018	1.9	▲ 0.6	1.7	▲ 4.5	5.9	▲ 0.7	346,669	▲ 1.3	2,293	1.9
2019	▲ 4.8	▲ 0.1	1.4	11.3	▲ 0.7	3.6	326,534	▲ 5.8	1,849	▲ 19.4
2020	▲ 35.1	0.4	2.5	▲ 2.8	▲ 17.1	0.5	308,119	▲ 5.6	1,555	▲ 15.9
2020 10	▲ 23.0	1.5	3.6	▲ 2.7	23.1	2.7	26,886	0.7	140	▲ 14.7
11	▲ 27.0	2.6	4.7	▲ 9.7	3.3	4.8	18,076	▲ 12.0	113	▲ 17.0
12	▲ 19.3	0.6	2.4	0.8	▲ 0.2	9.4	17,672	▲ 21.9	84	▲ 38.6
2021 1	▲ 37.7	2.0	4.1	16.1	4.9	3.2	16,342	7.9	121	43.5
2	▲ 22.6	▲ 2.0	0.1	▲ 6.1	▲ 15.6	6.6	15,448	5.8	121	6.5
3	▲ 3.5	▲ 2.3	▲ 0.4	▲ 2.9	1.0	5.4	34,094	▲ 4.5	203	15.9
4	113.0	▲ 2.3	▲ 0.3	▲ 23.1	▲ 9.5	14.6	28,352	21.3	146	▲ 16.8
5	56.4	▲ 1.2	0.8	7.7	30.4	22.4	28,056	47.3	87	▲ 36.1
6	▲ 34.3	▲ 5.7	▲ 3.8	▲ 18.8	▲ 11.7	2.3	21,608	▲ 27.9	122	▲ 24.5
7	▲ 20.8	▲ 1.2	0.7	▲ 14.6	▲ 9.1	▲ 15.0	44,439	▲ 0.3	129	2.2
8	▲ 13.7	▲ 4.1	▲ 3.8	▲ 16.8	▲ 10.5	1.5	35,562	17.2	90	▲ 38.9
9	▲ 1.2	▲ 0.4	0.5	▲ 17.5	▲ 38.7	7.4	53,814	64.3	89	▲ 10.1
10	▲ 3.0	1.9	2.9	▲ 17.9	▲ 29.3	▲ 8.2	26,721	▲ 0.6	200	42.8
11	▲ 0.5	▲ 1.9	▲ 0.9	▲ 5.7	▲ 15.6	▲ 3.3	21,981	21.6	127	12.7
出所	りゅうぎん総合研究所調べ				自販協	中古 自販協	西日本建設業保証 沖縄支店		国土交通省	

注) 百貨店売上高は、2014年9月より調査先が一部変更となった。

注) 新車販売台数の出所は沖縄県自動車販売協会、中古自動車販売台数は沖縄県中古自動車販売協会。

暦年	新設住宅着工戸数		建設 受注額	セメント 出荷数量	生コン 出荷数量	鋼材 売上高	木材 売上高	観光施設 入場者数	ゴルフ場 入場者数	広告 収入
	戸	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比
2018	16,803	1.3	9.3	▲ 1.8	▲ 4.2	2.7	10.6	▲ 2.6	▲ 1.2	▲ 2.4
2019	15,098	▲ 10.1	▲ 11.9	0.3	1.4	4.0	7.2	0.8	▲ 0.9	▲ 2.2
2020	10,703	▲ 29.1	3.1	▲ 10.0	▲ 10.4	▲ 11.6	▲ 11.6	▲ 71.6	▲ 7.6	▲ 15.7
2020 10	985	▲ 20.9	202.4	▲ 13.7	▲ 10.9	▲ 1.9	▲ 0.6	▲ 71.1	5.4	▲ 15.5
11	862	▲ 23.7	35.0	▲ 14.9	▲ 10.3	▲ 13.9	▲ 15.1	▲ 60.9	5.9	▲ 16.8
12	804	▲ 35.4	94.3	▲ 14.6	▲ 9.3	▲ 12.7	▲ 3.1	▲ 67.3	0.4	▲ 10.7
2021 1	798	19.1	186.3	▲ 11.7	▲ 12.0	▲ 11.5	▲ 11.7	▲ 80.4	▲ 18.2	▲ 6.7
2	751	▲ 15.0	▲ 107.4	▲ 21.7	▲ 25.1	▲ 23.5	▲ 7.4	▲ 76.0	▲ 21.4	▲ 14.2
3	731	▲ 33.2	▲ 54.9	▲ 3.0	▲ 11.4	▲ 4.5	▲ 8.4	4.2	11.0	0.6
4	913	▲ 19.1	▲ 61.9	▲ 12.9	▲ 29.5	▲ 19.9	▲ 5.4	302.8	84.9	14.7
5	744	▲ 27.0	27.0	▲ 7.8	▲ 18.2	▲ 7.8	16.0	4,754.3	78.4	24.9
6	761	▲ 0.8	▲ 5.6	▲ 33.6	▲ 36.8	▲ 11.7	0.8	▲ 71.8	▲ 1.6	9.4
7	901	0.6	▲ 3.6	▲ 33.2	▲ 27.6	▲ 17.1	2.0	▲ 72.6	▲ 13.6	8.5
8	646	▲ 34.9	8.9	▲ 19.5	▲ 21.0	▲ 10.0	6.2	▲ 53.6	27.8	7.5
9	713	18.8	127.4	▲ 7.0	▲ 10.2	13.8	16.4	▲ 87.2	14.6	0.2
10	897	▲ 8.9	▲ 58.6	▲ 22.3	▲ 25.3	▲ 1.9	18.7	▲ 19.6	5.8	9.3
11	882	2.3	P▲ 43.0	▲ 9.4	▲ 23.2	P12.1	7.8	▲ 13.5	▲ 0.2	-
出所	国土交通省		りゅうぎん総合研究所調べ							

注) 建設受注額は、2021年1月より調査先を18社から17社とした。

注) ゴルフ場入場者数は、2021年4月より調査先を8ゴルフ場から6ゴルフ場とした。

沖縄県内の主要経済指標(その2)

暦年	入域観光客数		入域観光客数のうち外国客		ホテル稼働率(実数)		ホテル売上高(前年比)		鉱工業生産指数(季調値)	
	千人	前年比	千人	前年比	市内	リゾート	市内	リゾート	2015年=100	前年比
2018	9,847.7	4.8	2,903.8	14.2	80.5	71.9	▲ 0.3	▲ 2.3	90.0	▲ 2.6
2019	10,163.9	3.2	2,930.0	0.9	80.9	69.7	▲ 2.2	▲ 3.4	87.1	▲ 3.2
2020	3,736.6	▲ 63.2	256.9	▲ 91.2	31.7	31.4	▲ 60.1	▲ 59.5	-	-
2020 10	341.2	▲ 59.9	0.0	▲ 100.0	32.7	43.8	▲ 68.0	▲ 37.2	72.1	▲ 16.3
11	381.1	▲ 52.3	0.0	▲ 100.0	44.2	48.0	▲ 63.7	▲ 19.7	75.6	▲ 10.9
12	326.2	▲ 56.8	0.0	▲ 100.0	38.8	36.6	▲ 63.8	▲ 38.4	72.1	▲ 7.5
2021 1	144.0	▲ 80.2	0.0	▲ 100.0	13.7	12.4	▲ 82.5	▲ 76.8	77.2	▲ 7.9
2	118.8	▲ 79.9	0.0	▲ 100.0	18.3	13.1	▲ 77.8	▲ 81.3	81.2	▲ 18.9
3	299.2	▲ 24.5	0.0	▲ 100.0	24.4	22.1	▲ 33.7	▲ 9.2	94.4	▲ 14.8
4	262.6	239.7	0.0	0.0	21.4	22.3	118.6	338.8	81.1	▲ 10.8
5	195.2	343.6	0.0	0.0	16.8	17.4	526.4	2,358.3	72.2	10.2
6	162.9	13.0	0.0	0.0	15.0	11.3	3.9	78.4	68.2	▲ 7.9
7	250.4	▲ 9.7	0.0	0.0	22.2	20.4	▲ 30.4	▲ 25.5	68.5	▲ 9.8
8	288.2	42.1	0.0	0.0	21.1	21.9	▲ 25.4	17.2	65.7	▲ 10.5
9	204.9	▲ 10.0	0.0	0.0	17.5	18.8	▲ 32.0	▲ 37.5	69.2	▲ 0.8
10	299.0	▲ 12.4	0.0	0.0	27.4	27.9	▲ 21.9	▲ 38.7	-	-
11	368.0	▲ 3.4	0.0	0.0	41.7	35.6	▲ 4.9	▲ 30.4	-	-
出所	県文化観光スポーツ部 観光政策課				りゅうぎん総合研究所調べ				県企画部統計課	

注) ホテルは、2021年11月より調査先が28ホテルから27ホテルとなった。

注) 2012年5月より外国客の入域観光客数を掲載した。

注) 鉱工業生産指数の暦年値、前年比は原指数の増減率。2019年4月より2015年=100に改定された。

暦年	企業倒産件数	負債総額		消費者物価指数	失業率(季調値)	就業者数	有効求人倍率(季調値)	新規求人数(県内)	通関輸出	通関輸入
		百万円	前年比							
2018	44	12,416	99.5	0.9	3.4	2.3	1.31	3.6	28,543	175,452
2019	50	5,714	▲ 54.0	0.4	2.7	2.7	1.34	3.3	31,126	148,698
2020	34	3,640	▲ 36.3	▲ 0.3	3.3	0.1	0.90	▲ 27.2	30,063	120,799
2020 10	6	360	318.6	▲ 0.4	3.6	▲ 1.6	0.74	▲ 32.5	2,917	7,088
11	2	87	▲ 86.8	▲ 0.7	3.3	0.5	0.75	▲ 24.8	1,471	6,368
12	1	88	▲ 72.3	▲ 0.7	3.9	0.4	0.74	▲ 27.3	1,025	9,511
2021 1	5	312	940.0	0.0	3.9	▲ 0.9	0.77	▲ 17.7	1,516	6,543
2	6	454	▲ 14.3	▲ 0.1	3.7	▲ 1.2	0.75	▲ 24.5	1,338	7,295
3	5	5,753	541.4	0.3	4.4	▲ 1.2	0.76	▲ 5.5	4,472	7,239
4	3	37	23.3	▲ 0.4	3.9	2.9	0.78	12.7	16,931	7,333
5	7	1,359	100.0	▲ 0.2	3.4	0.8	0.83	13.6	1,879	9,946
6	2	337	▲ 31.2	0.5	3.7	0.0	0.88	2.5	1,823	7,891
7	1	154	▲ 82.1	▲ 0.1	4.5	▲ 0.7	0.84	4.9	1,327	11,308
8	0	0	▲ 100.0	▲ 0.1	3.6	0.4	0.79	13.6	1,720	23,380
9	1	26	▲ 69.0	0.0	3.2	0.6	0.80	24.8	1,966	7,481
10	3	434	20.6	0.3	2.4	1.0	0.80	9.7	4,299	14,005
11	1	320	267.8	-	-	-	-	-	5,492	11,252
出所	東京商工リサーチ沖縄支店			県企画部統計課			沖縄労働局		沖縄地区税関	

注) 消費者物価指数は、2021年7月より2020年=100に改定された。

注) 失業率と有効求人倍率は、2020年12月以前の数値について新季節指数へ遡って改訂した。

注) 有効求人倍率(季調値)と新規求人数は、就業地ベース。

沖縄県内の金融統計

年度	銀行券 発行額	銀行券 還収額	銀行券 増減 (▲還収超)	貸出 金利 (地銀3行)	手形交換高(金額は億円)				不渡実数 (金額)	不渡 発生率
	億円	億円	億円	%	千枚	前年比	金額	前年比	百万円	%
2018FY	2,511	4,092	▲ 1,582	1.506	201	▲ 4.7	3,599	▲ 2.1	24	0.007
2019FY	2,658	4,076	▲ 1,415	1.465	189	▲ 5.9	3,381	▲ 6.0	5	0.002
2020FY	3,019	2,812	207	1.399	165	▲ 13.1	3,016	▲ 10.8	7	0.002
2020 10	203	315	▲ 112	1.406	13	▲ 18.1	211	▲ 20.5	1	0.007
11	250	243	6	1.404	14	5.0	269	28.1	0	0.000
12	486	179	306	1.399	13	▲ 19.8	218	▲ 24.5	0	0.000
2021 1	77	380	▲ 303	1.396	12	▲ 25.8	212	▲ 27.0	3	0.012
2	189	190	▲ 1	1.389	12	▲ 11.0	216	0.7	0	0.000
3	198	269	▲ 70	1.386	16	▲ 8.0	299	▲ 5.3	0	0.000
4	316	180	136	1.385	14	▲ 7.2	251	▲ 13.6	3	0.012
5	130	284	▲ 154	1.374	13	5.2	242	8.7	0	0.000
6	233	239	▲ 6	1.371	14	▲ 17.3	257	▲ 14.5	0	0.000
7	245	200	45	1.369	12	▲ 20.3	199	▲ 29.9	0	0.000
8	219	225	▲ 6	1.367	14	0.9	281	7.7	0	0.000
9	215	250	▲ 35	1.366	12	▲ 4.7	216	▲ 7.8	0	0.001
10	224	212	11	1.362	11	▲ 16.8	184	▲ 12.4	1	0.005
11	-	-	-	-	14	▲ 6.1	243	▲ 9.5	61	0.250
出所	日本銀行那覇支店				那覇手形交換所					

注) 銀行券増減は、端数調整により一致しない場合がある。

注) 貸出金利は、暦年ベース。

注) 不渡発生率は、不渡実数(金額)÷手形交換高(金額)×100

年度	地銀3行預金量 (信託勘定含む末残)		地銀3行融資量 (信託勘定含む末残)		県内金融機関 の預金残高 (末残)		沖縄振興開発 金融公庫融資量 (末残)		沖縄県信用保証協会 債務残高(末残)	
	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比
2018FY	48,679	2.5	38,613	5.0	49,141	3.4	8,587	1.1	1,202	2.5
2019FY	49,931	2.6	39,293	1.8	50,358	2.5	8,641	0.6	1,225	1.9
2020FY	55,734	11.6	40,847	4.0	56,384	12.0	10,320	19.4	2,865	133.8
2020 10	54,812	10.2	40,029	4.0	55,367	10.4	10,228	22.1	2,452	108.6
11	55,404	10.3	40,106	4.0	55,939	10.5	10,266	22.8	2,516	114.5
12	55,474	10.7	40,259	3.9	56,097	11.1	10,392	22.8	2,606	120.8
2021 1	55,315	11.7	40,323	3.9	55,933	12.0	10,378	22.7	2,677	126.6
2	55,647	11.7	40,652	4.4	56,271	12.1	10,387	22.9	2,720	130.0
3	55,734	11.6	40,847	4.0	56,384	12.0	10,320	19.4	2,865	133.8
4	57,066	10.6	40,714	4.2	57,685	10.9	10,326	16.3	2,958	119.2
5	57,305	8.6	40,752	3.5	57,922	8.9	10,327	11.4	2,981	100.3
6	57,507	6.1	40,754	3.0	58,131	6.4	10,378	6.8	2,988	67.6
7	57,281	5.8	40,763	2.5	57,962	6.1	10,422	4.6	2,993	47.8
8	57,394	4.8	40,751	2.0	58,038	5.0	10,419	3.3	2,997	35.5
9	57,072	4.6	41,019	2.4	57,742	4.9	10,534	3.6	2,995	26.8
10	57,462	4.8	41,015	2.5	58,113	5.0	10,513	2.8	2,999	22.3
11	57,690	4.1	40,692	1.5	-	-	10,491	2.2	-	-
出所	沖縄県銀行協会				日本銀行本店		沖縄振興開発金融公庫		沖縄県信用保証協会	

注) 県内金融機関の預金残高は、19年2月分より日本銀行(本店)ホームページ上で公表している県内預金合計に遡及改訂した。